

COVID-19 対策と世界的なカネのかかる大運動会の中止 or 開催予測チェックリスト

作成： 日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長 戸村智憲（2021 年 5 月 20 日）

この度の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の災禍をはじめ、台風/豪雨災害・各種震災など各地の災害等で、国籍等に関わらず感染・被災された方々と復興者の皆様・世界各地の医療機関関係各位ならびに各種関係各位のご安全と 1 日も早い実りあるご快癒・復旧復興と共に、ご無念ながらに天上に召されました尊い御霊・御仏のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

コロナ渦中で緊急事態宣言の延長が議論されはじめた中、世界的なカネのかかる大運動会の中止 or 開催の予測は、民間企業の経済ダメージの度合いを左右し得るもので、業績回復や経済成長においての戦略立案・事業企画などで重要な役割があり得ます。

国・政府・自治体などが現時点で明確に意思決定がなされていない中で、民間企業の自衛策として、客観的に予測を立てやすいよう標題の下記チェックリストを独自に策定し公開することと致しました。

強硬推進派の方々も断固反対中止派の方々も含め、物事の整理にお役立て頂ければ幸いです。

なお、これは国際的なチェックリストでもなく参考案ですので、各自の任意でのご判断に際しましては、最新の公式情報をご参照・ご熟読の上でご自身の責任でご判断頂きますようお願い申し上げます。

✓	チェック項目等（チェックが多いほど開催メリットあり、少ないほどメリットなし）
	新型コロナウイルス感染症の国内外の状況が、「コロナ渦中」から「コロナ渦中を脱した」と客観的に言えるエビデンスやファクトが明確に示せるか？
	世界的なカネのかかる大運動会に費やす税金や医療スタッフを、コロナ渦中で苦境にあえぐ飲食店・外食産業・観光宿泊業などの方々や医療機関の窮状支援に回すより、無観客で観光収益なども見込なくても強硬開催した方が経済的メリットはあるか？
	緊急事態宣言が延長されるべきと議論される中で、宣言を延長すれば劇的に感染状況が改善すると見込めるこれまでの経緯やエビデンスやファクトがあるか？
	COVID-19 対策の切り札となり経済活動を拡充しやすくするワクチン接種は、諸外国と比して開催国として誇れるほどに圧倒的に接種が進んでいるか？
	国内外のアスリートの生命が尊いことを鑑み、万が一にも感染症の発生やクラスター拡大などの状況に直面した際に、国・政府・自治体などが SDGs 目標 16-6「あらゆるレベルにおいて、有効で説明責任のある透明性の高い公共機関を発展させる。」に沿った、説明責任・透明性ある運営がなされているか？

COVID-19 対策と世界的なカネのかかる大運動会の中止 or 開催予測チェックリスト

2021 年 5 月 20 日作成時点 作成： 日本マネジメント総合研究所合同会社 戸村智憲

	公衆衛生・公益性を鑑み、万が一の感染症の拡大や公衆衛生の状況悪化などで、緊急に情報を共有・報道しなければならない場合に備えて、SDGs 目標 16-10「国内法規及び国際協定に従い、情報への公共アクセスを確保し、基本的自由を保障する。」ことにより、ジャーナリストや報道機関の忖度なき自由な報道体制が確保されているか？
	動員するボランティア・医療スタッフ・各種スタッフや運営委員会などの運営において、SDGs 目標 8-7 に言う「現代の奴隷制」(例：いわゆるサービス残業・過重労働・ディーセントワークに程遠い労働実態)がなく、特に、コロナ渦中で社会基盤を守る砦となる医療従事者の労働環境が劇的に改善されているか？
	世界的なカネのかかる大運動会を開催する予算を原資に、スポーツ行政やアスリートの環境や待遇改善に活かすより、開催した方がアスリートにとってメリットがより大きいのか？
	国の善政か失政かの問題を、アスリート個人の出場辞退強要などの民間人同士の争いにすり替えられておらず、ワクチン接種の任意や参加意向などを含めたアスリートの自由意志やスポーツの尊さを最大限に尊重できている社会状況か？
	任意であれワクチン接種が進んでいれば、経済活動の本格再始動や飲食・観光・宿泊などを国民の生命のリスクをできる限り低減した上で進められるのに、ワクチン行政や緊急対応・危機管理が昨年の段階から充実して取組んでいたか？
	SDGs 目標 6-6「2020 年までに、山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼などの水に関連する生態系の保護・回復を行う。」ことが、放射性物質の排水や土壌改良などを含めて、環境保護上も収賄防止上もクリーンになって開催できると言えるエビデンスやファクトが明確に存在するか？
	コロナ渦中から脱しての開催の決め手となる社会基盤の砦となる医療従事者の学業や就業に際し、SDGs 目標 5-1「あらゆる場所におけるすべての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。」ことが、医学部受験や医局・医療機関の職場などでの人材配置も含めて実現されており、開催の運営全般にも同様にジェンダーの平等などの SDGs で求められる対応が充実していることを示すエビデンスやファクトが明確にあるか？
	SDGs 目標 2-1「2030 年までに、飢餓を撲滅し、すべての人々、特に貧困層及び幼児を含む脆弱な立場にある人々が一年中安全かつ栄養のある食料を十分得られるようにする。」ことを達成するため、開催予算をすぐにでも飢餓・貧困などの問題解決に回すより、開催した上でその財源を確保して進められることがより確実となるか？

※必ずご自身で最新の公式情報でのチェックや自己責任でのご対応をお願い致します。

※SDGs 出典・参考元： 2015 年 9 月 25 日第 70 回国連総会で採択 我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ <http://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000101402.pdf> (外務省仮訳)

上記以外の COVID-19 関連情報・弊社の情報発信は、下記をご参考までに。

弊社メルマガご登録： <https://www.jmri.co.jp/contact3.html>

弊社の COVID-19 特設ページ： <https://www.jmri.co.jp/covid-19article.html>

弊社のプレスリリース一覧： <https://www.jmri.co.jp/information.html>

